

【山形県】白鷹農産加工研究会

今年現代社会の構造とそれを支える思想を見事なまでに露呈した年となったような気がいたします。今年の幕開けはTPPの6月参加表明をどのように阻止するのかという緊張のなかでの幕開けとなりました。しかしながら、3/11の東日本大震災と東京電力福島第2原発の事故と放射能汚染と被曝被害、そしてその事故処理対策と翻弄されることとなりました。

○東北の現実をみつめて

私たちは、実に多くのことを学びました。国は、津波被災地と福島を見捨てたとしか思えません。守ろうとしたのは「大企業」ばかりでした。原発事故処理労働者を見捨てるように酷使しています。その作業被曝の保障と補償はタブーのように扱われていないでしょうか。仕事と賃金を失うことが、明日の生死とこれほどまでに密接につながっているということ、人の「シゴト」の中にこそ「社会」の矛盾の全てが反映されていると感じました。東北が「日本の植民地」と呼ばれる歴史を確認した瞬間でした。大間、六ヶ所、三沢、釜石、女川、多賀城、大城寺原、東電福島第一第二、常磐炭坑・・・みな利権と産業の餌にされたマチやムラです。しかし、またしても、この被災地に「復興利権」と「被曝利権」によって「シゴト」という支配をもたらそうとしています。毎日、福島県民を見捨てているようにたたまれない気持ちになります。

日本は、それでもベトナムに原発を売り込み、TPP参加を表明し、復興利権に群がる体質をむき出しにし、増税によって国民負担を求めるといふ暴挙に出ています。すべてをカネで済ませようということを私たちは許してしまうのだろうか。

○これからのこと

カネが万能の時代は、もうすぐ終焉を迎えようとしているように思います。そうならなければいいという期待感かもしれません。野田首相は、「国益に沿うTPPの推進」と同様に、被災地を「企業化」によって特区復興させようとしています。地元の農漁民の反対があってもです。何を「復興」させようとしているかは明らかです。人々にこれだけの被曝と苦痛と損失をもたらしてもなお原発が必要なのは電力利権という富の独占を守るためです。これが「問題の本質」です。そして

この電力利権は、農村を疲弊に追いやりその疲弊を利用して構築できたものです。

このとき、私たちは「放射能公害、原発労働者、福島県農産物」として表出した「問題の本質」にどのように向き合うのかが問われています。私たちはここを避けて通ることはできません。

これほどまでに経済格差が広がり、富と財が一握りの人間に集中するような経済構造を、私たち人々の手で打ち破ることができなければ、私たちの未来はこの上なく暗いものにならざるを得ないと思います。

私たちの自由や平等は、おカネの呪縛から解放されることにはあり得ないのではないかと感じるようになりました。

○常総生協組合員のみなさんへ

常総生協さんの信頼関係作りが素晴らしいと思います。不眠不休の検査体制と確かな情報、安全と安心を基調とした暮らし方食べ方情報、丁寧な説明と理論の開示、全てが「共に生きてゆこう」という決意を表現しているように感じます。常総生協さんの取り組みであった国産綿のベビー布団にも感動しました。

安全や安心感については、個人的な事情や考え方によって判断は異なりますから、私たちも独自に土壌、大豆、玄米、雑穀、野菜などの放射性物質汚染濃度を検査いたしました。

私たちは、なにほどの被害もなく、放射能汚染もきわめて少なく、いつものように働きいつものように暮らしています。だからこそ私たちは、福島の人々と連携をとりながら生きられる道を模索しようとしています。

福島から自主避難してきた友人が弊社に入社することになりました。どうして、自己負担で安全を確保しなければならないのか、国と東電に怒りを感じます。

このストレスを吐き出し、体温を上げ、全ての化学物質に負けない体をつくり、東に金のないひとがあれば一緒に働こうと言い、南に食べる物が無いひとあればこれを食べるといい、遠くに原発を廃炉にしたいひとあれば一緒にやろうと言う、そんな加工研に私はなりたい。

白鷹農産加工研究会 鈴木 雄一

手作り味噌で放射能に負けないぞ! 【年末恒例】 供給担当職員の 手作り味噌お披露目



うめめ!
すごいぜ!

今年一年、毎週毎週お世話になりました。僕たちからの組合員さんへ仕込み味噌の年末プレゼントです! おいしいです。年明けには味噌講習会に参上します!



【年始の配達予定】
○1月1回の供給は、
1/5(木)~7(土)
の変則3日供給です。
変則供給のため、供給時間が前後します。ご了解下さい。概ねの供給時間は担当者ニュースでご連絡します。

【年末・年始の配達予定】

	18	19	20	21	22	23	24
	日	月	火	水	木	金	土
	12月3回お届け						
	(注文書は1月1回と1月2回の2回分を同時提出)						
12月	25	26	27	28	29	30	31
	日	月	火	水	木	金	土
	←12月4回お届け→ おせち(12月5回) →						
	月火コース	水木コース	金コース	月火コース	水木コース	金コース	
1月	1	2	3	4	5	6	7
	日	月	火	水	木	金	土
	←1月1回お届け→						
	月火コース	水木コース	金コース				

「共に2011年をふりかえる」生産者から(2)

【福島県 西白河郡矢吹町】 大木代吉本店

1)ふりかえて思うこと

「蔵の素」でお世話になっている大木代吉本店です。今年は人と人とのつながりを強く感じる感謝の一年でした。震災後に立ち行かずどうしようもない時にたくさんの方々からご支援を頂きました。

人は一人で生きていけない、喜びも悲しみも誰かと分かちあい、支え合っていくものだと素直に感じられました。震災時の日本人の礼儀たしさが日本人の美德であると各国から賞賛を頂きましたが、そういった国に生まれた人と結びついていると感じられることは誇らしく、何より心強いことです。

2)これからのこと

伝統というのは金で買えるものではなく、また一朝一夕に出来るものでもありません。大木代吉本店という歴史を作ってきた先達の思いや、守らなくてはいけない社員、また応援してくれる皆さんの力を糧に、福島の大地と醸造の未来を想像しています。

3)組合員さんへのメッセージ

ご支援頂きありがとうございます。いち早く放射能に関する情報を頂き、今回の原料米に関する指針づくりに参考になりました。

大木代吉本店ではこれからも麴の力や発酵の醍醐味を商品一つ一つに込めて、食味や機能性などの複眼的な商品開発をまいります。※製造する全ロットにおいて放射の検査を実施します。今後ともよろしくお願いします。

(合名会社)大木代吉本店 代表 大木 雄太



5代目社長、
雄太さん



大木先代以下、生協の若手も集まって、震災に負けないぞ！と、蔵の素のお米の稲刈り。(10/1)

【福島県郡山市】

ハッピーファーム(安田なめこ園)

1)ふり返って思うこと、心に残ったこと

「いつもありがとうございます！」注文の携帯を切り、配達へと車に荷物を積み、荷室のドアを閉めようとした時、物凄い地鳴りがしたと思ったら足元をすくわれる様なあの震災が…きのこの菌舎の中は足を踏み込み入れるのも難しくピンが散乱し、あの時中に居たら下敷きになっていたかもしれません…

2)これからのこと

地震だけだったら、今頃はいつもの様な状態に戻っていたかと思いますが、原発事故により、福島は先の見えないトンネルに入ったような状態です。トンネルの出口はどこにあるのか？行政や東電もあてには出来ず、自分で出口を探さなければならぬのか？と居ます。

3)組合員への メッセージ

原発事故直後から常総生協さんは被災農家へもキメ細かく、どこよりも早く色々対応してくださいました。メゲそうになっていた気持ちが、本当に励まされました。

「命を育む食を守る！」その姿勢は生協の鏡ではないかと思えます。出来たら今後もそのお手伝いをこちらで続けさせていただけたら幸いかなと思っています。

ハッピーファーム 安田 純一



がんばれ！安田さん。

12/10前後に生協の放射能検査をパスすれば、1月3日より復活予定です！

【福島県 郡山市】吉田きのこ園

〇ふりかえて思うこと、心に残ったこと

3月11午後2時46分。忘れることのできない長い一日でした。体験したことのない強い揺れ、幾度となく余震が続く。そして土日の原発の爆発と。

あれから8ヶ月、まだ時が止まった感じがしてならない、いくら頑張っても目に見えない敵と戦っていて、滅入ることの多い日々が続いている。誰に文句を言ってもはじまらないのが現状であります。最終的には自分のことは自分で行わなければならないとつくづく思う日々です。しかし、色々の方々に応援支援頂いて、絆の大切さを大切にしながら、今後も前進していきたいと思えます。

負けないぞ、と常に心がけたい。

〇これからのこと

国、県の言うことは、東電に請求しなさい、そして借り入れを申し込みなさいと、簡単に言う。しかし

現実にはまったく先が見えない。

先日、11月24日、「あいこぼふくしま」で生産者の会があった。その中で放射能と向き合って負けない農産物の生産を続けて行きたい。ゼオライトと貝化石を投入して安全性を高めて行きたい。

〇組合員へのメッセージ

安全と安心、常に心がけて生産してまいりましたが、組合員の方々に大変なめいわくをかけてしまいました。現在はまったくセシウムは検出されていません。しかし、原材料のオガ屑にセシウムが検出されれば厳しくなってきます。でも農業人としての誇りを持って、安全の向上に努めてまいりたいと思えます。これからもご支援宜敷お願いします。



出荷は減りましたが頑張る吉田さん夫妻

【福島県相馬市】フードネット

1)ふり返って思うこと、心に残ったこと、

原発事故による放射能汚染は農家の生産意欲を無くし、安全な野菜を作っていた農家ほどダメージが大きい。早く無原発にしないと日本の未来は無いと思う。

2)これからのこと

個人の努力だけでは、どうしようもない放射能汚染を、どのようにして、安全と言えらるまでにもっていかれるか。

3)組合員へのメッセージ

常総生協様は、積極的に脱原発に取り組んでおられるので、組合員の皆様も、ぜひ原発の無い安全な社会をめざしてご協力下さい。

フードネット 新谷 公男

【群馬県】那須バイオファーム

1)ふり返って思うこと、心に残ったこと

今年2月11日那須バイオファームは創立20周年を迎える事が出来ました。その1ヶ月後の3月11日の午後…。震度6強の突然の地震、培養室の棚がへし折れ、培養中の菌床が落下し足の踏み場もない程散乱、どこから手をつけたらよいのか啞然とする。停電の暗やみの中懐中電灯を片手に社員一同で1ヶ1ヶ約10,000個片付けた日を思い出します。その後、大勢の皆様のご協力により立ち上がった事に心より感謝しております。

又常総生協様のご協力により放射性セシウムの検査等を定期的実施して頂き会員の皆様方に安全・安心な舞茸をお届けでき大変ありがたくお礼申し上げます。

2)これからのこと

弊社では建物内で舞茸が栽培されていますので電気は最も大切でなくてはならないものです。自然を破壊しなく無限にある太陽光が安価に活用できる事を期待しています。その折には一早く事業展開したいと考えています。

3)組合員へのメッセージ

日々、安全・安心な舞茸をお届けしたく社員一同頑張っております。安全で香り味のよい舞茸栽培を追及しつづけていきたいと思えますので、皆様方には末永くご愛顧頂きます様宜しくお願い致します。那須バイオファーム 村上



村上さん
夫妻